



西中だより

第14号 令和5年9月4(月)

学校教育目標 「知を磨き、豊かな心と たくましい体をもった生徒の育成」

発行：校長 寺田 是

2学期が動き出しました

2学期が始まり10日ほど経ちました。授業や部活動など本格的に動き始めた先週は、夏休みの生活リズムから学校生活のリズムへの切り替えとともに、厳しい暑さへの適応を迫られる一週間でしたが、徐々に、生徒も、学校生活のリズムを取り戻し、「学校が動き始めたな」と実感する一週間になりました。

授業の方は、先週初めの確認テストや夏休みの宿題などの提出や整理も終わり、通常の授業が始まっています。時間割に沿って学習し、時間で動くという具体的な行動を通して、学校生活のリズムが整っていくことをあらためて感じています。



青雲祭の取組も始まりました

右の写真は、体育の時間での3年生の長縄跳びの練習風景です。9月22日・23日に予定されている青雲祭(22金 文化部門、23土 体育部門)に向けた練習です。これ以外にも、学年合唱の練習が音楽の授業や昼休みを使って始まっています。

今年の夏は、例年以上に気温が高く、未だに、高温となる日が続いていますので、授業や活動に当たっては、当日の気温や熱中症に関する指数(気温に湿度などを加味したもの)などを踏まえ、活動場所の変更や活動時間の調整、適宜の休憩、給水などの対策をとりながら行っています。

ご家庭にも、水筒の準備などお手数おかけしていますが、子どもたちが、健康面に留意しながらも充実した活動が行えるよう、今後ご協力いただくと幸いです。十分な睡眠や食事なども体調に大きな影響を与えますので、配慮の程よろしく願います。



9・1に授業時間以外の地震発生を想定した避難訓練を行いました

これまでの本校の避難訓練は、訓練する日時(○月○日の○校時に地震が発生する)を事前に伝え、授業中の発生を想定し、生徒は「机の下に身を隠す」という避難行動をとっていました。

今年度は、より実践的な防災力を身に付けることを目的に、地震は「いつ発生するか」は分からないことを前提に、「今日、実施する」という告知を行わず、「今週中にあるよ」ということだけ伝える、また(授業時間ではなく)休み時間に発生するという想定での訓練を行いました。

訓練当日は、昼休み終了の5分前に、緊急地震速報の際のアラート音を流し、地震発生のアナウンスを行いました。教室にいた生徒が多かったのですが、中には廊下にいる生徒もいて、右の写真のように、その場で、低い姿勢をとり、頭を守り、動かないという避難行動をとっていました(「自分の周りの落ちてこない、倒れてこない場所を見つけ、姿勢を低くし、頭を守り、揺れが収まるまで動かない」が、地震発生直後の避難行動としてはよいと言われています)。その後、生徒達は、各教室に戻り、自身の行動が適切であったかを振り返り、改善点などを確認しました。



同様の訓練を行った他校の例では、校庭で遊んでいたのにもかかわらず、わざわざ教室まで戻って机の下に潜った生徒もいたとのこと(揺れている最中に、教室まで戻る行為は、校舎の壁面からの落下物に遭遇するなどリスクの高い行動となってしまいます)。今後も、さまざまな場面を想定した避難訓練を行い、自分の命を自分で守る避難行動を身に付けられるようにしていきたいと思えます。

続けて、水害に関する学習も行いました

避難訓練の振り返りに、引き続き形で、水害時の避難行動について、各教室で学習しました。ビデオを視聴し水害時の避難行動について学んだり、甲府市のつくった洪水ハザードマップをもとに自分の家の周りが洪水に見舞われた際に、最大で何m程度の浸水が予想されるかなどについても学びました。

甲府市では、電柱に、洪水時に予想される浸水レベル(「想定浸水深」)を表示していますので、各ご家庭でも、ご確認いただければと思います。

よく言われる言葉ですが、「災害は忘れた頃にやってくる」ものです。学校と家庭、地域が連携して、いつやってくるか分からない災害への備えをしていければと思います。



甲府市洪水ハザードマップ(令和4年4月版)